

## 竜王町における家庭教育支援の取組

|  |                  |
|--|------------------|
| 竜王町  | 本事業実施年度 平成 24 年度 |
| 活動内容   |                  |
| <input type="checkbox"/> 地域人材の養成<br><input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援体制の構築<br><input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育を支援する取組<br><input checked="" type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援活動の実施 |                  |
| 年間活動日数(のべ)   | ( 66 日 ※12 月時点 ) |

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| 家庭教育支援員や支援チームに関すること       |            |
| A:家庭教育支援チーム数              | ( 1 )チーム   |
| B:家庭教育支援員数                | ( 3 )人     |
| C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数 | ( 1 )か所    |
| D:前項(C)の配置場所名             | (竜王町教育委員会) |

### ■ 家庭教育を取り巻く現状

家庭における子どもたちの生活は、スマートフォン、ゲーム等に割く時間の増加に歯止めがかからないことなどから、十分な睡眠時間の確保などの「基本的な生活習慣」が根付かない状況であり、家庭学習の習慣も十分とはいえない。一方、保護者においては、核家族化や地域でのつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が大きく変化し、家庭が抱える問題も複雑化・多様化が進む中、家庭の教育力低下や孤立化が顕著となっており、訪問型の「とどける」「つながる」仕組みづくりが必要である。



【 家庭教育支援研修会 】

### ■ 家庭教育支援で目指す姿(課題解決のために…)

学校教育のめざす「生きて働く基礎学力の定着」と生涯学習の掲げる「規則正しい生活習慣の確立」を『車の両輪』と位置付ける中、学社連携のもと、子どもたちの『学ぶ力の向上』に向け、家庭教育の担い手である保護者などを対象として、テーマを設定し研修会を開催した。



【 竜王町教育フォーラム 2025 】

### ■ 本年度の活動

- (1)教育フォーラム 2025 の開催<11 月1日>
- (2)家庭教育支援サポーターによる支援の実施(随時)
- (3)家庭教育支援研修会の開催<11 月、2月>
- (4)防災行政無線を活用した生活習慣改善啓発<月3回>

### ■ 訪問型家庭教育支援の実践内容

3名のサポーターが、つながりが必要な家庭に対して学校、関係機関等と相談・調整しながら、帰宅時や子ども食堂への付き添い支援などを実施した。体制に関する事など、仕組みづくりについては、生涯学習課と学校教育課の行政担当者が連携して運営をしている。

### ■ 本年度の成果

支援につながった家庭の子どもたちの意欲が高まり、情緒的に安定した様子がみられた。保護者にも地域(人)への安心感、信頼感が高まったと思われる。大きな変化ではないが少しずつ変わっていく様子が見られていることがよかった。

### ■ 今後の課題

家庭教育支援サポーターには、スキル向上のため研修のほか、個人情報の取扱いやサポーターとしての職務の範囲などの基本的なルールなどについても継続した研修の機会を持つべきであると感じた。

報告書記入者(生涯学習課 生涯学習係 係長)

## 竜王っ子の『学ぶ力』を育てよう！～心豊かでたくましい竜王っ子をめざして～

### ■ 活動の具体的内容

#### ○家庭教育支援チームの設置、実践等

- ・つながりが必要な家庭に対してサポーターが、学校や関係機関等と相談・調整しながら、帰宅時や子ども食堂への付き添い支援などを実施した。

#### ○学習講座・行事の実施等

- ・家庭教育支援の周知、啓発を目的とした夏休みの居場所イベントを開催した。  
(8月21日・NPO団体との共催)
- ・家庭教育支援研修会の開催 11月、2月

#### ○連絡会議・ケース会議の設置、運営等

- ・毎月1回程度家庭教育支援サポーターと行政担当職員(学校教育課・生涯学習課)の連絡会を開催し、現状の把握と今後の支援について協議している。

#### ○保護者に対する情報提供等

- ・町広報での周知と学校連絡システムを活用した情報提供を行った。

### ■ 実施に当たっての工夫

○教育フォーラムでは、夢や目標を実現するためには、本人の努力とともに、家庭や地域での応援や協力が必要であることを伝えるため、小学校高学年以上の子どもとその保護者、および地域住民をターゲットにし、リオ五輪アーティストスティックスマイニングメダリストの乾友紀子氏を講師に招いたトークショーを開催した。また、当日参加できない保護者や町民のために記録ビデオを制作し、動画共有サイトで配信した。

### ■ 事業の成果

○教育フォーラムでは、乾氏から、夢が目標に変わったきっかけや、苦労や転機、大切にしたことなど、子どもたちが共感し保護者にも響く様々なエピソードをお聞きした。乾氏の思いをより深く聞き出すため、FM 滋賀パーソナリティの林智美氏に進行役を依頼し、トークショー形式で開催したことから、事後アンケートには、「トークショー形式だったので乾氏の話が聞きやすかった」や「林氏が乾氏の言葉を引き出してくれた」などの感想が多く寄せられた。



【 夏休みの居場所イベント  
(ほうかごみちくさの夏休み) 】

### ■ 事業実施上の課題

○今年度の教育フォーラムは、町制施行70周年記念事業である竜王町文化祭の一環として実施したため、200人近い来場者があった。しかしながら、保護者層や高齢層が多く、小中高生の参加が少なかった。家庭教育の核となる世代への直接的な働きかけはできた一方で、夢や目標を持ってもらいたい子どもたちへのアプローチという部分については不十分だと考える。すべての世代への啓発は非常に難しいところではあるが、曜日や時間、講師選定など、幅広い世代が参加したくなる研修会や啓発方法について検討していく必要がある。



【 竜王町教育フォーラム2025 】

報告書記入者( 生涯学習課 生涯学習係 係長 )